

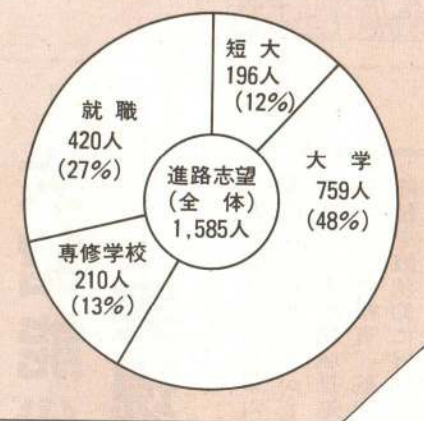
# 秋田短大誘致に向けて 高校生の進学意識調査を実施

調査対象人数・高校数

	合計	男子	女子	高校数
秋田	652 <sup>A</sup>	306 <sup>A</sup>	346 <sup>A</sup>	16 <sup>B</sup>
青森	360	170	190	9
岩手	573	294	279	14
計	1,585	770	815	39

高校卒業後の進路志望

	全体	男子	女子
短大	196 <sup>A</sup>	21 <sup>A</sup>	175 <sup>A</sup>
大学	759	423	336
専修学校	210	83	127
就職	420	243	177
計	1,585	770	815



秋田短期大学誘致促進期成同盟会では、秋田・青森・岩手の北東北三県の高校生を対象に進学意識調査を実施しました。この調査は、大館に短大が設置された場合に十分な学生数を確保できるのか、また、高校生がどんな学業を望んでいるのかなどを知るためのもので、調査結果は、秋田経済法科大学側と設置学科などについて協議する際の基礎資料として活用していきます。

## 短大志望者は 全体の12%

調査は、秋田県十六校、青森県九校、岩手県十四校の計三十九校で、各校二年生の一クラスを対象に実施しました。調査対象人数は合計千五百八十五人でした。

調査結果は進路志望別、男女別、県別に集計しました。高校卒業後の進路志望で一番多かったのは男女とも大学進学で、全体の四八・七五十九人。短

大進学は全体の一二・百九十六人でした。短大志望者を県別で見ると、秋田県は四・九十二人、青森県は一二・四十四人、岩手県は一〇・六十人となっています。

## 人気の学科は 『看護・医療技術』

短大志望者の内訳は男子が二十一人、女子が百七十五人となっています。ここでは、女子の調査結果をみてみましょう。進学志望学科は、「看護・医

療技術」が四十六人で最も多く、次いで「生活科学」の十九人、「保育・教員養成」の十五人となっています。

学科を選ぶ理由(複数回答)としては、「興味がある」五十一人、「資格が取得できる」五十一人、「将来性がある分野である」二十三人がベスト3です。

また、大館に短大が設置された場合を想定しての設問では、「進学先として積極的に考える」「進学しても良い地域である」と答えた人を合わせると四九・八十五人になったほか、次の四つの学科を設置した場合志望するかとの設問では、「考えてみる」「内容次第では考えてみる」

の向きの回答が、看護科で三一・五十五人、福祉系学科(社会福祉・介護福祉)で三八・六十七人、経営情報科三五・六十一人、秘書学科(事務管理)

四〇・七十一人といずれも三〇％を超える高い数字で得られました。

このほか、志望校を決定する際にどのような点を重視するかという設問では、「自分の学力にあっている」「資格の取得や専門技術などの修得が確実にできる」「イメージが良い」が上位を占めています。

## 地域に役立つ 短大の設置を

国は、今後大学等の設置にあたっては、原則として抑制することになっていますが、社会経済上または地域振興上、極めて必要性が高いと思われるものについては例外として取り扱う方針です。

今回の調査結果で、女子の短大志望者の中でも特に、看護や医療、社会福祉関係の学科を志望する人の多いことがわかりました。同盟会では、この結果も資料の一つとして大学側と協議していきます。

短大誘致を実現するためには、地域の総力を結集した運動を進めていくことが必要です。そのためには、市民の皆さん一人ひとりのご支援とご協力がなくてはなりません。一体となって短大誘致に向けた運動を展開していきます。